

英語コミュニケーション・パワーアッププラン
中高連携授業変革プロジェクト協力校実践内容

1 目的

中学校・高等学校における英語コミュニケーション能力を育てるための指導に関する研究・実践をするとともに、中学・高校の英語指導に系統性をもたせ、生徒の英語コミュニケーション能力向上に資する。

2 主催

岐阜県教育委員会（学校支援課）

3 内容

- (1) 英語コミュニケーション能力を高める指導方法の研究実践
- (2) 学校訪問による英語授業診断・改善
- (3) 中高の授業実践交流研究

4 連携協力校の実践内容（研究期間：2年間）

中学校と高等学校がお互いに授業交流をしながら、英語の系統的な指導方法や効果的なコミュニケーション重視の指導方法等の実践的な研究を行う。

また、ケンブリッジ英検や TOEFL-ITP を受験して、英語力を客観的に診断しながら授業改善に生かす「グローバル・スタンダードによる英語力診断」と、英語授業以外にも英語に触れる時間を増大する「イマージョン・プログラム」の実施を通して、生徒の英語コミュニケーション能力の向上をめざす。

(1) 授業交流実践研究

各校で、英語コミュニケーション能力を高める具体的な活動を累積する。
・効果的なコミュニケーション活動・コミュニケーション能力の基礎を育てる活動の累積
授業実践を、中学校・高等学校で交流する。
・互いの授業参観をし、授業研究をする。中学校・高等学校で各1～2回ずつ。優れた実践を広める。
・優れた授業実践・活動を総合教育センターのホームページ上に載せて広める。

(2) イマージョン・プログラム

英語の授業以外において、生徒が英語に触れ、使う時間をより増やすために、以下の例から活動を選び、各学校において取り組む。
英語以外の授業を英語で実施
諸活動を英語で実施（作品づくりや調理、講演会等）
英文図書や、英語視聴覚教材の活用

(3) グローバル・スタンダードによる英語力診断

中学校においては、ケンブリッジ英検ヤングラーナース、高等学校においては、TOEFL-ITP（Level2）を、希望生徒（各校40名～80名程度）が受験し、その診断結果を授業改善に生かす。